

令和 8 年度事業計画書

—はじめに—

近年の物価高騰に伴う寄付収入の減少及び収益率低下により、当協会の単年度収支は令和 6・7 年度の 2 期連続でマイナス約 350 万円となっており、コロナ禍に積み上がった内部留保資金を取り崩しながら運営維持を図っている現状にある。

各事業の見直しを行い、持続可能な経営基盤の再構築に努めるため、ニーズの少ない事業や特定の利用者に偏っている事業を見直し、助成事業の一部について規模の適正化を図る。

また、新たな寄付収入の確保により安定した基盤整備の強化を図り、単年度収支の不均衡の改善を図る。

【参照】協会事業区分（令和 8 年度、令和 7 年度分）

I 令和 8 年度事業計画（案）

1 肢体不自由児療育思想の普及に関する事業

合計支出予算：13,387,000 円（令和 7 年度 合計支出予算：14,130,000 円）

合計収入予算：21,191,000 円（令和 7 年度 合計収入予算：21,064,000 円）

ア 「友情・愛の絵はがき」「クリアファイル」「愛のタオル」事業（継続）

支出予算：12,595,000 円（令和 7 年度 支出予算：12,806,000 円）

収入予算：21,191,000 円（令和 7 年度 収入予算：21,064,000 円）

（福）日本肢体不自由児協会及び各道府県肢体不自由児協会の主唱により全国展開される「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として寄付を募り、寄付を頂いた方に「クリアファイル」等を返礼する。肢体不自由児に対する療育思想の普及を図るとともに、事業財源の確保に努める。

（見直し理由）

- ・ 返礼品に係る仕入れ値、配送費、梱包費、振込手数料等の物価上昇分を協会が全額負担していたが、収支を圧迫する要因になっているため、改善を図る必要がある。
- ・ 第四北越銀行の窓口振込手数料等が R8.3.1 から値上げが予定されている。
（自行）550 円→770 円（他行）880 円→1,100 円

【R7 年度との変更点】

（1）過年度の在庫タオルをセットで返戻し収入を確保 ※4～5 年ごとに実施

（R7）未実施

（R8）700 円/1 セット（3 本）×,750 セット=1,925 千円

1.925 千円－諸経費=1,865 千円の増を見込む

(2) 振込手数料の寄付者負担

(R7) 寄付額の多寡にかかわらず全額協会負担

(R8) 寄付額 2,000 円を下回る場合、振込手数料を寄付者負担に変更

(R7 受注件数 約 1,450 件中、289 件（約 20%）が対象）

(3) 民間企業が実施する助成金事業への応募

(R7) 未実施

(R8 「BSN 愛の募金」、「ソフトバンクつながる募金」等へ応募し、助成金を確保

単位 (円)

絵はがき・クリアファイル・愛のタオル事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
返礼品仕入れ値（消耗品費）	10,746,806	10,077,000	10,011,703	9,920,000	▲157,000
通信運搬費	1,765,401	1,821,000	2,030,793	1,841,000	20,000
委託費（梱包発送及び封入）	507,122	489,000	459,444	527,000	38,000
その他（印刷費、賃借料等）	494,087	419,000	412,898	307,000	▲112,000
合計	13,513,416	12,806,000	12,914,838	12,595,000	▲211,000

返礼予定数（メモ帳以外令和 7 年度と同額）

返礼品名	令和 8 年度 寄付額	令和 6 年度 実績数	令和 7 年度 実績見込み	令和 8 年度 返礼予定数
トッキッキフェイスタオル ※1	600 円	15,296 枚	13,919 本	13,500 本
オリジナル柄ナセンタオル① (R7 ご当地柄) ※2	300 円	17,714 枚	18,276 本	14,500 本
オリジナル柄ナセンタオル② (R7 錦鯉柄) ※2	300 円	16,778 枚	11,298 本	14,500 本
在庫タオルセット	700 円	—	—	2,750 個
友情・愛の絵はがき	100 円	583 組	505 組	500 組
トッキッキクリアファイル ※2	200 円	3,182 枚	2,182 枚	2,200 枚
レルヒさんクリアファイル ※2	200 円	3,482 枚	2,036 枚	2,000 枚
レルヒさんメモ帳 ※3	300 円	コラボセット内	2,557 個	2,300 個
コラボセット	500 円	1,357 セット	1,066 セット	1,100 セット

※1 R6→R7 100 円値上げ

※2 R6→R7 50 円値上げ

※3 R7→R8 100 円値上げ

(コラボセット用千葉県・群馬県)		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
トッキッキクリアファイル (群馬県へコラボ用)	60 円	2,000 枚	1,500 枚	1,300 枚
トッキッキクリアファイル (千葉県へコラボ用)	60 円	500 枚	600 枚	2,000 枚
レルヒさん (群馬県へコラボ用)	60 円	2,000 枚	—	—

※千葉県はこれまで一般の寄付者のみにコラボセットを返礼していたところ、令和 8 年度から学校に対しても協力頂けることになった。

イ 肢体不自由児・者の書、絵画、写真等、作品展の開催事業

(「ふれ愛作品展」の開催事業(継続))

予 算 527,000 円 (令和 7 年度予算 576,000 円)

全国の「肢体不自由児・者の美術展」、「肢体不自由児・者のデジタル写真展」の入賞作品や県内の肢体不自由児を中心とした障害児・者の書、絵画、写真等の作品を展示し、肢体不自由児・者の生きがいの増進と一般の人々の肢体不自由児・者に対する理解の促進を図る。

【アオーレ長岡(長岡市)】

期 日：令和 8 年 8 月 17 日(月)～8 月 21 日(金) (予定)

展示場所：アオーレ長岡 西棟 1 階 ホワイエ

展示作品：第 44 回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

【新潟ふるさと村(新潟市)】

期 日：令和 8 年 9 月 5 日(土)～9 月 13 日(日) (予定)

展示場所：新潟ふるさと村 ファイブワンいいね!新潟館(1F ホール)

展示作品：アオーレ長岡会場と同じ

単位(円)

「ふれ愛作品展」開催事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b)-(a)
委託費(設営等)	374,643	430,000	426,855	420,000	▲10,000
通信運搬費	32,611	40,000	33,035	40,000	0
印刷製本費	60,390	77,000	91,435	40,000	▲37,000
その他(旅費、保険料等)	22,424	29,000	10,078	27,000	▲2,000
合計	490,068	576,000	561,403	527,000	▲49,000

ウ「ふれあいの集い」開催事業（継続）

予 算 265,000 円 （令和 7 年度予算 748,000 円）

肢体不自由の有無にかかわらず、地域の小・中学生が交流することで、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的に体験会を行う。

交付予定 5 団体
1 団体あたり 50,000 円以内

（見直し理由）

- ・当協会の主催事業として車椅子バスケットボールやボッチャ、スキー、車椅子ダンスなどの団体に委託し、事業を行ってきたが、参加者が少ない。
- ・肢体不自由の有無にかかわらず、地域の小・中学生の交流を図れるよう、実施方法へ見直す。

【R7 年度との変更点】

（１）実施方法の変更

- （R7）当協会主催事業（令和 7 年度実績 車椅子バスケ 3 回、ボッチャ 2 回）
- （R8）学校や障害関係施設等への助成事業

（２）委託金額の変更

- （R7）車椅子バスケ 20 万円、ボッチャ 30 万円
- （R8）1 団体当たり 50,000 円以内

単位（円）

「ふれあいの集い」開催事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
委託費（実施団体へ）	356,568	517,000	500,000	0	▲517,000
助成金支出（学校等へ）	0	0	0	250,000	250,000
通信運搬費	69,500	119,000	3,586	5,000	▲114,000
印刷製本費	111,623	72,000	90,398	10,000	▲62,000
その他（旅費、賃借料等）	18,654	40,000	32,359	0	▲40,000
合計	556,345	748,000	626,343	265,000	▲483,000

2 肢体不自由児の援護に関する事業

予 算 122,000 円 (令和7年度予算 351,000 円)

援護活動が顕著な者等を表彰する事業（肢体不自由児援護表彰事業（継続））

肢体不自由児に対する援護・療育思想の普及啓発を図り、援護活動を推進するため、模範肢体不自由児及び肢体不自由児を援護した者を表彰する。

受彰者 各項目 2～3 名程度（合計 10 名程度）

- 【本人】 身体障害にも負けず勉学や療育に励んだ肢体不自由児で、他の児童・生徒の模範になる者
- 【友】 肢体不自由児の友を 3 年以上にわたり助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒（小・中・高校生）・学級（前課程からの継続年数を含む）
- 【療育普及】 長年にわたり、肢体不自由児の療育、指導に顕著な功績のあった者
- 【保護者】 肢体不自由児の保護者として、他の模範となる努力や研鑽をした者

表彰式 11 月頃（予定）

場 所 県庁（秘書課 第二応接室）

（見直し理由）

- ・表彰式の開催時期について、冬季の積雪による受彰者の移動負担の軽減を図る。
- ・これまで、本事業の募集要項等を単独で送付していたが、他の事業と一緒に送付し、通信運搬費等の事務経費の削減と効率化を図る。

【R7 年度との変更点】

（1）募集時期及び表彰式開催時期の変更

(R7) 募集→11 月、開催→2 月

(R8) 募集→8 月、開催→11 月

単位（円）

「肢体不自由児援護表彰」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
消耗品費	62,617	80,000	26,215	14,000	▲66,000
通信運搬費	101,088	96,000	103,676	6,000	▲90,000
印刷製本費	66,106	100,000	39,085	52,000	▲48,000
その他（委託費・旅費交通費）	63,695	75,000	28,732	50,000	▲25,000
合計	293,506	351,000	197,708	122,000	▲229,000

3 肢体不自由児療育相談、支援に関する事業

予 算 766,000 円 (令和7年度予算 760,000 円)

肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業(肢体不自由高等学校等奨学生採用事業 (継続))

一般の高等学校及び高等専門学校(1～3 学年)に在学している肢体不自由児の修学活動を支援するため、奨学金を給付し(返済不要)、勉学の意欲を助長するとともに、肢体不自由児の健全な育成を図る。

交付予定 15 名(令和7年度実績 9 名)

奨学金 50,000 円(令和7年度より 10,000 円減額)

(見直し理由)

- ・他県の肢体不自由児協会へ調査したところ、年額2～3万円の協会が大半。
- ・児童手当が高校生まで拡充されたことや授業料支援など、他の支援制度も整備されている。

【R7 年度との変更点】

(1) 交付予定人数

(R7) 12 名 (R7 実績 9 名)

(R8) 15 名 (継続見込み 9 名)

(2) 奨学金の一人当たりの交付額の変更

(R7) 60,000 円

(R8) 50,000 円

単位(円)

「肢体不自由高等学校等奨学生採用」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
奨学金(助成金支出)	420,000	720,000	540,000	750,000	30,000
通信運搬費	16,060	20,000	17,697	16,000	▲4,000
印刷製本費・消耗品費	0	20,000	6,600	0	▲20,000
合計	436,060	760,000	564,297	766,000	6,000

(他県の状況)

16 都道府県送付、16 件回答あり (40 都道府県中、16 県が奨学金あり)

奨学金 (年額)		採用協会数・道県名	
60,000		1	新潟県
最高額	100,000	1	大分県
他都道府県 平均額 27,812	35,000	1	福岡県
	30,000	6	北海道、茨城県、山梨県、愛知県、山口県、沖縄県
	20,000	5	群馬県、千葉県、兵庫県、鳥取県、香川県
	10,000	3	東京都、奈良県、愛媛県

R8. 1. 16 (公財) 新潟県肢体不自由児協会調査

4 肢体不自由児の援護活動及び関係機関への助成に関する事業

合計予算 : 1,142,000 円 (令和 7 年度 合計予算 : 1,525,000 円)

ア 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業 (肢体不自由児激励事業 (継続))

予 算 522,000 円 (令和 7 年度予算 522,000 円)

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、保護者団体が行う各種イベント等の事業に対し助成を行い、その活性化を図る。

交付予定 10 団体 (令和 7 年度実績 10 団体)

1 団体当たり 50,000 円以内 (令和 7 年度と同額)

単位(円)

「肢体不自由児激励」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b)-(a)
助成金支出	440,233	500,000	495,000	500,000	0
通信運搬費	5,930	6,000	10,025	15,000	9,000
印刷製本費・消耗品費	11,330	16,000	9,130	7,000	▲9,000
合計	457,493	522,000	514,155	522,000	0
助成件数	9 団体	10 団体	10 団体	10 団体(予定)	

イ 障害者スポーツ参加促進事業（継続）

①【スポーツ大会観戦等に助成する事業】

予 算 90,000 円（令和 7 年度予算 138,000 円）

肢体不自由児とその介助者等を対象に、スポーツの観戦チケットを無償で配布し観戦していただくことで、スポーツへの関心を育み、スポーツに参加する意欲を高め、肢体不自由児の積極的な社会参加を図る。

（サッカーチケットは例年、新潟県障害者スポーツ協会を通じて、新潟県信用農業協同組合連合会から提供を受けており、令和 8 年度分を確認中。野球チケットは当協会より購入）

交付予定 サッカー・野球 各 2 試合×10 席

（見直し理由）

・令和 7 年度予算作成時には、アルビレックス新潟から新潟県信用農業協同組合が提供するサッカーのスタンド席チケットは車椅子席に使用できないと聞いていたため、車椅子席分のチケット代を計上していたが、年度途中にアルビレックス新潟から車椅子席を参加人数分を確保できる旨の連絡があったため、計上していた車椅子席チケット購入代が不要になったことによるもの。

単位(円)

「スポーツ大会観戦等助成」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b)-(a)
助成金支出	8,000	80,000	12,300	15,000	▲65,000
通信運搬費・委託費、旅費	24,073	23,000	72,358	55,000	32,000
印刷製本費	40,920	35,000	27,720	20,000	▲15,000
合計	72,993	138,000	112,378	90,000	▲48,000

②【スポーツ用品等購入に助成する事業】

予 算 418,000 円（令和 7 年度予算 604,000 円）

障害者が利用可能なスポーツ施設（社会福祉施設を含む）や障害者の支援団体、NPO 法人などに対して、肢体不自由児・者が参加できるスポーツ用具の購入費用に助成を行い、障害者スポーツの普及・啓発を図るとともに、障害者スポーツへの参加を促進する。

交付予定 5 団体（令和 7 年度実績 6 団体）

1 団体あたり 70,000 円（令和 7 年度より 30,000 円減額）

(見直し理由)

- ・ 交付先を民間団体のみに変更した令和4年度から令和7年度の助成額を平均したところ、1団体あたりの購入単価が約7万円。
- ・ 過去10年間の交付実績の中で、3分の2が複数回助成を受けているため。

【R7年度との変更点】

(1) 助成対象

(R7)

- ・ 多数の申請があった場合、利用人数（主に肢体不自由児数）や規模、費用対効果等を総合的に判断して決定。
- ・ 新規申請を優先するが、申請状況や予算の執行状況により、追加募集を検討。

(R8)

- ・ 新規申請を交付対象とし、過去5年以内に交付を受けた団体は対象外とする。

(2) 1団体あたりの助成額の変更

(R7) 100,000 円

(R8) 70,000 円

単位 (円)

「スポーツ用品購入等助成」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
助成金支出	783,924	500,000	422,374	350,000	▲150,000
通信運搬費・委託費	78,748	78,000	68,836	60,000	▲18,000
印刷製本費・消耗品費	23,210	26,000	15,510	8,000	▲18,000
合計	885,882	604,000	506,720	418,000	▲186,000
助成件数	11 団体	5 団体	6 団体	5 団体	

ウ 肢体不自由児関係団体支援事業（継続）

予 算 112,000 円 （令和7年度予算 261,000 円）

①【車椅子等購入助成事業】

車椅子を必要とする施設や学校（公立を除く）に希望を取り、1台5万円を上限として当協会より購入助成を行う。

交付予定 1 台

助成額 50,000 円（令和7年度実績 0 円）

(見直し理由)

- ・過去5年の実績台数の平均とする。

【R7年度との変更点】

交付予定件数

(R7)2台 (令和7年度実績0台)

(R8)1台

②【肢体不自由児者助成事業】

関係団体支援事業の一環として、助成を希望する地区の肢体不自由児者父母の会に助成を行う。

交付予定 1地区 (令和7年度実績1地区)

1地区当たり 50,000円以内 (令和7年度と同額)

③【日本筋ジストロフィー協会に対する助成事業】 (廃止)

予 算 0円 (令和7年度予算 101,000円)

(廃止理由)

- ・日本筋ジストロフィー協会新潟県支部から、サークル活動の参加者に児童が少ないことから、令和8年度以降は助成金申請を辞退するとの申し出あり。

単位 (円)

「関係団体支援」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b)-(a)
助成金支出	200,000	250,000	150,000	100,000	▲150,000
通信運搬費	1,488	4,000	990	2,000	▲2,000
印刷製本費・消耗品費	5,500	7,000	9,570	10,000	3,000
合計	206,988	261,000	160,560	112,000	▲149,000

5 肢体不自由児の療育指導者及び関係者の養成訓練に関する事業

合計予算：343,000 円 （令和7年度 合計予算：972,000 円）

ア ボランティア講習会開催事業（継続）

予 算 90,000 円 （令和7年度予算 271,000 円）

肢体不自由児に対する理解と療育の普及を図り、肢体不自由児の生活の向上に資するため、県内の各大学、短大、専門学校の学生に周知し、ボランティア講習会を実施する。

開催回数 年 1 回
会 場 新潟ふれ愛プラザ 体育館（予定）
参加人数 10～15 名程度（予定）

単位(円)

「ボランティア講習会」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b)－(a)
通信運搬費	22,514	12,000	20,350	25,000	13,000
印刷製本費	51,865	55,000	23,595	7,000	▲48,000
委託費	118,129	115,000	68,376	0	▲115,000
諸謝金・旅費・賃借料等	38,531	89,000	48,978	58,000	▲31,000
合計	231,039	271,000	161,299	90,000	▲181,000
参加者	14 人	30 人（予定）	3 人	10 人（予定）	

イ ボランティアサークル助成事業（廃止）

予 算 0 円 （令和7年度予算 119,000 円）

（廃止理由）

- ・コロナ禍以降、肢体不自由児を対象としたサークル活動の停滞、サークルに所属せず個人で支援活動を行う学生が増加。
- ・肢体不自由児を対象としたサークルが減少。
- ・近年、申請が1大学1サークルのみとなっており、波及効果も限定的。

単位(円)

「ボランティアサークル助成」事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
助成金支出	0	100,000	50,000	R8 廃止	
印刷製本費	0	8,000	7,370		
通信運搬費・消耗品費・委託費	23,196	11,000	8,154		
合計	23,196	119,000	65,524		
サークル助成（件数）	0 件	2 件	1 件		

ウ ICT 機器研修会開催事業（継続）

予 算 253,000 円（令和7年度予算 582,000 円）

障害児施設の従事者や特別支援学校等の教員、保護者等を対象に、iPad やスイッチ機器等の ICT 機器を使用した肢体不自由児への支援方法を学ぶ研修会を実施する。

支援の現場で取り入れやすい機器の操作を体験し、障害に合わせたタブレット端末の設定などを学ぶことで、教育や福祉現場での肢体不自由児への支援方法の拡充を図る。

なお、過去の研修会参加者には、スイッチ機器等の工作会の開催も併せて予定。

開催回数 年 1 回
会 場 ハイブ長岡 会議室（予定）
参加人数 10～15 名程度（予定）

（見直し理由）

- ・参加者が少ないため、新潟会場・長岡会場を隔年開催とする。
- ・工作会参加者に実費として1名あたり1,000円材料費を徴収。

単位(円)

「ICT 機器研修会」開催事業					
内容	R6 実績	R7 当初予算 (a)	R7 実績見込	R8 予算 (b)	(b) - (a)
講師謝金・旅費	28,502	96,000	91,376	100,000	4,000
イベント委託料等	113,085	238,000	225,500	82,000	▲156,000
その他(印刷費・通信費等)	165,210	248,000	129,536	71,000	▲177,000
合計	306,797	582,000	446,412	253,000	▲329,000
開催場所	新潟	新潟・長岡	新潟・長岡	長岡	
参加人数	7 人	30 人（予定）	8 人・7 人	15 人（予定）	

6 その他法人会計に関わる事業

(1) ホームページの管理及び SNS 運用（継続）

予 算 296,000 円（令和7年度予算 310,000 円）

当協会のホームページ、X、インスタグラムを随時更新し事業内容の周知に努めるとともに、各種事業の参加促進及び療育思想の普及に努める。

寄付金申し込みフォーマット年間保守管理費：	80,000 円
ホームページ年間保守料及びアップデート：	198,000 円
ドメイン使用料及びサーバー使用料、振込手数料等：	17,000 円
ホームページソフトウェア等減価償却費：	1,000 円



(HP)



(X)



(Instagram)

(2) 関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会

予 算 23,000 円（令和7年度予算 30,000 円）

令和8年度は千葉県で関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会（千葉県・群馬県・神奈川県・茨城県・埼玉県・新潟県）を開催し、各県の取り組みや財政状況、運営上の課題等を情報共有し、協会の安定的な運営等について協議する。なお、持ち回りのため、令和9年度は新潟県で開催を予定。

(3) 当協会定款の見直しについて

（顧問税理士事務所の巡回監査内で対応）

令和6年度施行の改正公益法人法に基づき、令和8年度中に決算書類の名称変更（正味財産増減計算書から活動計算書への変更）の定款変更を行う予定。

II 役員会等

- 1 監事会 4月に開催。決算の監査を行うほか、理事会に出席頂き、評議員会に提出すべき議案及び書類について監査する。
- 2 理事会 5月に決算、3月に予算を審議する通常理事会のほか、必要に応じ随時開催する。
なお、令和8年5月の評議員会において理事及び監事の任期が満了になるため、評議員会終了後、理事長及び副理事長の再任にかかる書面表決の理事会を行う。

- 3 評議員会 5月に決算審議の定時評議員会、3月に予算審議の臨時評議員会を開催するほか、役員の選任など必要に応じ随時開催する。
- なお、令和8年5月の評議員会において理事及び監事の任期が満了になるため、再任にかかる決議を諮る。